

講義名	スポーツビジネス論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	山口 泰雄		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	32076

主題と概要

現代社会は、高度情報化、グローバル化、少子高齢化を特徴にして、急速な進化を遂げている。半面、わが国では医療費の高騰や人口減少、都市と地方の格差の拡大など、さまざまな社会課題が浮上している。このような社会情勢の中、スポーツの社会効果、経済効果など、スポーツの持つ力が評価されている。本稿では、スポーツビジネスに関する基礎知識を習得し、スポーツビジネス領域の概要と現状に関する理解を深める。また、スポーツビジネス領域に求められる人材の資質とは何かを議論し、自ら積極的に企画・立案力を高め、社会貢献できる人材としての基礎を学ぶ。

到達目標

本稿の到達目標は、以下のとおりである。
 1) スポーツビジネスに関する基礎知識を身に付ける
 2) スポーツビジネスに関する諸産業(用品産業、施設・空間産業、サービス・メディア産業)の理解を深める。
 3) スポーツビジネスの対象に、マーケティング戦略の企画・立案を習得する。

提出課題

授業終了時に、その日の感想、質問、ポイント等を提出してもらおう。また、レポート課題を課すことがある。

評価の基準

評価は、下記の基準により行う。
 試験 50%、受講態度・質問等 25%、レポート・小レポート 25%

履修にあたっての注意・助言他

提出物の期限厳守、私語厳禁、資料・書籍の通読、授業計画は進行状況により、変更する可能性がある。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

プリント資料は必要に応じて配布する。参考図書は、「スポーツ産業論 第6版」(原田宗彦 杏林書院)。

授業計画

第1回: スポーツビジネスとは?
 第2回: スポーツビジネスの背景とその歴史
 第3回: スポーツ用品産業の概要と具体的事例
 第4回: スポーツ施設・空間産業の概要と具体的事例
 第5回: スポーツサービス・情報産業の概要と具体的事例
 第6回: 海外のスポーツイベント・ビジネス
 第7回: 国内のスポーツイベント・ビジネス
 第8回: 海外におけるプロスポーツ・ビジネス
 第9回: 国内のプロスポーツ・ビジネス
 第10回: 海外のスポーツツーリズム
 第11回: 国内のスポーツツーリズム
 第12回: ゲスト講師によるスポーツビジネスのプレゼン(Q&A)
 第13回: オリンピックの歴史の変遷とスポンサーシップ
 第14回: 地域スポーツのビジネス化とその可能性
 第15回: 神戸スポーツ産業懇話会(SINK)の歩みと成果

予習・復習

予習: 各講義の事前に、授業計画の内容を自宅学習すること。
 復習: 講義の最後に、「今日のまとめ」を提示するので、その部分の復習を行うこと。

備考